

令和6年度使用小学校教科用図書 選定委員会

日 時 令和5年7月27日(木)

9:00~12:00

場 所 西地区コミュニティセンター第4講座室

○事務局 ただいまから、令和6年度使用小学校教科用図書選定委員会を始めます。

本日は夏季休業中のご多用な中、御参会いただきましてありがとうございます。

まず、この会は、9月1日をもって議事録を公開するものであり、それまでは、非公開であることを御承知下さい。

本日、各教科の調査員の皆さんから作成していただいた選定資料を配付しております。今回の審議において活用いただきますようお願いいたします。

なお、本会議における発言者については、議事録上は明記しませんので、活発な審議をお願いいたします。

また、本会は、本日傍聴されていらっしゃる採択審議委員へ教科ごとに推薦する発行者をあげていただくことを目的としており、教科書の選定について、この会で決定するものではないことを申し添えます。

ではまず、採択審議委員長よりごあいさつをいただきます。

○審議委員長 本日は、選定委員会への出席まことに有難うございます。

6月から始まりました各教科書の調査、教科書の巡回及び各学校の意見集約等、日程の厳しい中で本当に有難うございました。

さて本日は、佐世保市立小学校教育研究会会長であります広田小学校、井上校長先生に主宰を務めていただき、この会を進めていただきます。作成された選定資料の報告、校内で集約された意見等を踏まえ、各種目3者程度を推薦していただければと考えております。採択審議委員会の中で、常に話をしていることは、佐世保市の子供たちにとって一番いい教科書はどれなんだということ、それを指導する先生方に使いやすい教科書はどれなんだ、この二つが大きな柱になるのかというふうに思っています。今日、現場の方から上がってきた意見というのは、私たちにおきましても、とても参考になる、注意しなければいけないと考えております。市内小学校及び義務教育学校の児童のため、十分な報告及び審議をお願いしまして、あいさつとさせていただきます。

それでは、この後の進行は井上校長先生にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○事務局 審議委員長、ありがとうございました。それでは主宰、よろしく申し上げます。

○主宰(以下、進行) はい。おはようございます。只今、採択審議委員長から主宰を命じられた井上です。どうぞよろしく申し上げます。着座にて進めさせていただきます。よろしく申し上げます。

さっそくですが、審議に入らせていただきます。今後、この選定委員会から推薦します各種目3者程度を教科書採択審議委員会へ報告することになっております。選定委員の皆様活発な意見をお願いします。

進め方といたしまして、種目ごとに調査員からの報告、各学校の校内研究の結果報告、その後全体協議を行い、推薦する3者程度を決定いたします。

なお、国語、書写、社会の3者及び地図、音楽、図工、家庭の2者しかない種目につきましては、すべて推薦するという形をとりたいと思います。

それでは、国語科から始めます。まず調査員から調査結果報告をお願いします。

○調査員 それでは、早速報告に移らせていただきます。国語部では、東京書籍、教育出版、光村図書の三者について調査を行いました。

まず最初に東京書籍ですが、基礎的・基本的な技能の習得のため、巻頭に学習の進め方を例示したり、ノードづくりや話し合いのコツなどを明示したりしてしていました。思考力、判断力、表現力育成のために、1単元1指導を原則とし、重点化した言語活動の設定がなされていました。

また、説明文や物語文において、児童に考えさせたい内容を、吹き出しにして表したり、物語の組み立てや単元全体の流れに説明を加えることで、言語活動を意識してイメージを広げたりしながら、単元を貫く言語活動のイメージ化を図るなどの工夫が見られました。

全体的なレイアウトとして、説明内容を解説するグラフなどを示して、学習意欲と効果が高まるような工夫がありました。

QRコードを各所に用いて、資料収集の一助ともなっていました。

次に、教育出版です。

こちらは、教科書を年間2冊に分け、児童が持ち運びやすいようにしてありました。

こちらの特長は、全体を通して、系統的な学習を意識してあったところです。

例えば、長崎県や佐世保市が目指す児童像に合った主体的な学び、考えようとする力が身につくよう、言葉による見方、考え方に力を入れていました。

また、文学的な文章では、自分や他者との関わり、社会全体に目を向け、生き方を学ぶような単元もありました。

ここでも、登場人物と対話し、想像を広げる系列など4系列を設定しています。

書くことの領域においては、日常化を図る系列や、課題追究、論理的に書く系列など、こちらも学年ごとの系列を意識して単元構成が組まれていました。

また、目次の後に領域ごとに色分けをして、区別がつきやすく見えるレイアウト上の工夫もありました。

最後に光村図書になります。

光村図書は、ここ数年、佐世保市にて選定されている教科書で、先生方にとっては、資料等のストックなどもあり、馴染みのあるものになっています。

今回の改訂では、次のような特長が見受けられました。

まず、ちいちゃんのかげおくりや海の命に加え、たずねびとの題材が取り上げられており、被爆地長崎県にとっては、郷土の歴史や文化、自然の自然への観点から、適した題材と言えます。

次に、主体的に学習に取り組む態度が身につくように、読むことの単元に、単元の扉と学習の流れをまとめた学習のページを設けてあったのが、特に印象的でした。

巻末付録には、学習内容を整理した資料や、他教科に生かせる資料を配置し、いつでも活用できるような工夫がなされていました。

「話すこと・聞くこと」の領域においては、三つの言語活動を配置し、これを並列化してありました。また、報告文や記録文、手紙、新聞など多様な言語活動が設定されており、書く能力をつけるに適した内容となっていました。

その他、物語文での言語活動へのイメージ化や学習事項のまとめ、また図書館活用においても、発達段階を考慮した教材の提示や資料を選ぶ方法が載せられていたのもよかったですと思います。

以上で国語科に関する調査報告を終わります。

○進行 ありがとうございます。

続きまして、各学校から校内研究の結果が挙がってきていると聞いています。

それについて事務局からお願いいたします。

○事務局 はい。各学校の方から時間がない中、研究をしてくださったものの結果を、お手元の方にお配りをしております。学校からいただきましたものを載せていますので、同じような意見については集約をさせていただいております。原文のままでないものもございしますが、その点ご了承願いたいと思います。以上です。

○進行 はい。しばらく時間をとります。校内研究に係る意見書国語について、しばらく目を通してください。

[資料黙読]

大変短い時間で申し訳ないのですが、まだお時間が必要な方いらっしゃいますでしょうか。では先に進めます。

国語は3者ですので、このまま推薦いたしますが、これは付け加えて欲しいというようなことはございませぬでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは国語は東京書籍、教育出版、光村図書の3者を推薦してよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

では、次は書写です。よろしくお願ひします。

○調査員 失礼します。国語に続きまして、書写の報告をさせていただきます。

書写におきましては、東京書籍、教育出版、光村図書の3者ございました。

まず始めに、東京書籍についてです。各単元に文字を書くための決まりとして、書写のかぎを示し、単元のねらいを明確にしたり、学習要素を系統的に分類・整理して、インデックスに示したりするなどの工夫が見られました。単元の流れについては、硬筆での課題の共有、毛筆で大きく書く、硬筆で別の文字を書く、定着を図る、学習の振り返りといったオーソドックスなものとなっていました。硬筆毛筆の分量のバランスを考え、生活に広げようの単元が設定されていました。

また、色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色やデザインについて、全ページにわたって、専門家による検証を行うことにも力が入っていました。

また、教科書のサイズを半紙の縦横比率に合わせて、横広にすることで、半紙における文字の配慮が行われていたのも印象的でした。

次に、教育出版です。単元の導入では、めあてに続いて考えようの項目を入れ、思考・判断・表現力育成のための工夫がありました。

主体的な学びのために、学習ステップがわかるアイコンを提示したり、見開きの中央に単元のねらいが会話形式で提示してあったりするなど、児童が学習のねらいを意識するための工夫がよくなされていました。

学習の日常化や硬筆、毛筆の学習バランスを考えて、レッツトライや考えを伝え合おうなどの教材を配置していました。

また、毛筆教材の二色の淡墨図の提示や、穂先の通り道を朱墨で表したり、手書きと近いフォントを利用したりするなどの工夫も見られました。

また、よい姿勢について、「こしぴん・足ぺた・ぐう一つ」など、音声で表したり筆の持ち方など、

基礎的・基本的な知識技能が確実に習得できるように工夫されていたのも印象的でした。

最後に光村図書です。

こちらも前回選定した教科書です。まず「はらい」「おれ」「そり」など、各単元で学習する内容、ねらいが強調されており、知識技能が確実に習得できるものとなっていました。

次に、観察や比較を通して、児童が主体的に文字の原理原則を発見できる活動が積極的に取り入れてあり、主体的な学習の一助になっていました。

次に特長的だったのが、書写ブックという付属資料です。

手紙や新聞など、学習した内容の活用例が示してありました。

また、6年間の学びを硬筆に生かす方法がポイントとともに紹介してあり、分量も適当でした。

最も印象的だったのは、前回から用いていた猫のキャラクターを用いて、書く姿勢や筆の持ち方、タブレット使用時の姿勢に加え、動画の整理体操までわかりやすく示してあり、児童が楽しんで書写を学べる一助となっていました。またカラーユニバーサルデザインについても詳細な配慮がなされていました。また、時節をとらえてSDGsの観点を設けてあるのも、特に印象に残りました。

以上で、書写に関わる方向を終わります。

○進行 ありがとうございます。先ほどの国語と同じように、各学校から出されております資料に目を通してください。

〔資料黙読〕

書写についても、3者をそのまま推薦いたしますが、資料を見られて何か付け加え等ございましたでしょうか。

それでは書写は東京書籍、教育出版、光村図書の3者を推薦してよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

ないようですので、次へ進みます。

次は、社会です。社会、お願いいたします。

○調査員 失礼します。社会科の教科書について、調査結果を報告します。

社会科につきましては、3者の教科書について調査を行いました。それぞれの教科書の特長についてご報告いたします。

1者目は東京書籍です。まず、全学年において「つかむ、調べる、まとめる、生かす」という学習過程で構成してあり、系統的に社会的な事象の追究、思考表現力が育てられるようになっています。

そして、その学習過程は教科書にわかりやすいレイアウトで表示してあります。各学年で様々な分野で活躍する人々の話を取り上げ、共感的に学び、学習の成果を生かして、自分たちにできることを考えたり、異なる立場から考えたりする学習場面を設定することで、社会の中で自らできることを考え、行動していこうとする態度を養うことができるように配慮されています。

また、学び方コーナーを随所に加え、関係図の表し方や取材などの調査の仕方、深く調べるための視点やヒントなどを示したり、各単元の終末に配置してあるまとめるコーナーでは表やフローチャートなどのまとめ方を示し、教科書にもう自分の言葉で、自分の表現方法でまとめたりすることで、基礎基本的な事項の確認、表現力を向上させる工夫がされています。

特に二次元コードによる、副教材的なコンテンツは豊富で、動画、クイズ、ワークシートなど多彩さも特長とも言えます。

2者目は教育出版です。こちらも全学年において、つかむ、調べる、まとめる、つなげるという学習過程によって、各単元を構成してあります。

このことは、先ほどの東京書籍と同じように、わかりやすいレイアウトにより表示してあります。3年生4年生ではキャラクターの吹き出しの対話により、学習の視点や方向性を示し、学習ガイド的な役割をしていますが、5・6年生になると、吹き出しも少なくなり、学年の発達段階にあった知的好奇心を学習につなげる工夫が見られます。また、学びの手引きコーナーでは、学習を進めていく上で必要な情報の収集方法、資料の読み取り方、表現方法などを解説し、基礎的基本的な技能が確実に習得できるように工夫がされています。さらに、6年の歴史単元。戦争の様子を伝える写真では、白黒をカラー化し、戦後に向けて明るいイメージが持てるような工夫をしております。

最後に、日本文教出版についてです。全学年において過程を発見、追究、解決、深めていくという学習の流れを示すことで、知識、技能を活用した問題解決学習を促し、思考力・判断力・表現力が育成されるように工夫されています。学び方調べ方コーナーでは、学習の計画の立て方、見学の仕方、グラフの読み取り方、意見交換の仕方などを解説することで、基礎的基本的な技能が確実に習得されるように工夫されています。

キーワードのコーナーを設け、学習理解に必要な重要用語を示すことにより、よりわかりやすい社会科の理解を深め高めたり、見方考え方コーナーでは、社会的な視点を空間・時間・関係の三つの視点に整理し、イラストで示すことで、思考力・判断力・表現力が育成されるように工夫されています。

本県・本市に関わる教材としては、3者とも、5年生の自然災害で雲仙普賢岳噴火災害、それから6年生の歴史への学習では、出島、島原の乱、長崎の原爆などが取り上げてあり、この点では3者とも同等だと言います。以上で、社会科の調査報告を終わります。

○進行 ありがとうございます。各学校の校内研究の結果について、社会科の資料について触れております。お願いします。

〔資料黙読〕

先生方、よろしいでしょうか。

社会科も3者ですので、このまま推薦をいたしますが、本当に付け加えて、先生方から何かございませんでしょうか。

それでは社会は東京書籍、教育出版、日本文教出版の3者を推薦してよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、社会科については、この3者を推薦いたします。

続いて、地図をお願いいたします。

○調査員 失礼します。地図の調査結果について報告いたします。地図は2者です。

1者目は東京書籍です。東京書籍は最初に東アジアを大きく掲載し、日本の位置を把握させ、次に日本の全体像、そして日本の各地方という展開になっています。

日本の各地の地図には、それぞれの名称や特産物に加え、細かな地名まで記載してあり、かなりの情報量が1ページにおさめられています。また、地図や資料の前面に渡り、イラストやキャラクターの吹き出し、写真や解説文等を掲載することで、調べる活動において、適切に情報を集める力、集めた情報を読み取る力を高める上で効果的に活用できるよう工夫されています。

さらに、巻頭の「地図のぼうげんに出発、ワールドマップ」や、日本の47都道府県では、世界

各地や日本の代表的な伝統文化、特産物、挨拶の言葉等が文字と挿絵で示されています。世界や日本の伝統文化、歴史、自然等に目を向けることで、世界と日本の共通点や相違点について、認識することができると考えられます。

2者目は帝国書院です。

帝国書院の地図は、前段に広く見渡す地図として、大体の地形や位置関係、そしてごく少ない情報を示し、いわゆる大ざっぱな地図を配置しています。そのあとに、詳細な地図を掲載するという構成になっています。

このことについては、情報量が多すぎて全体像がつかみにくい児童や3・4年生の児童の実態に合っているとも言えます。

特に中段以降の詳細な地図についても、その情報量は小学生として知的な好奇心を十分に喚起できるものであり、見やすい範囲の中で情報量を抑えたとも言えます。

また、統計的な資料として見た場合、日本の貿易では、輸出入相手国を示した地図を上下に配置し、相手国の輸出額の違いによって矢印の太きを変えたりなど、視覚的に違いがわかるよう工夫がされており。

次に、食料問題を廃止することによって、我が国の食料自給率の問題に視点が向けられるような工夫がされていることも、さらに、日本の自然災害と防災では、地形による災害の起こりやすさをイラストにまとめ、手書きの防災マップを例示するなど、児童が資料として扱いやすい内容まとめの活動として、取り組みがしやすい内容が紹介してあることの特長です。

本県・本市に関わる記述ですが、東京書籍では、地図中に長崎カステラ、佐世保の海きららや黒島天主堂、九十九島のカキなどがイラストで表示されています。日本の産業のページでは、みかんや漁獲量などが、長崎県のこととして取り上げられています。

帝国書院の方は長崎県の特徴として、カステラ、佐世保のハウステンボス、造船、みかん、ハマチ、カキのイラストが載っています。また黒島の潜伏キリシタン遺跡や食品工場のことについての記載も見られます。

以上で、地図の調査結果の報告を終わります。

○進行 はい。ありがとうございました。

先ほど社会の資料の後ろの方に地図について掲載されておりますので、ご覧ください。

〔資料黙読〕

地図についても、2者ですので、そのまま推薦をいたしますが、これに加えて、何かございませんでしょうか。

それでは地図は東京書籍、帝国書院の2者を推薦してよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、地図については、この2者を推薦いたします。

続きまして、算数をお願いいたします。

○調査員 失礼いたします。算数科の調査結果について報告します。

算数は6者の教科書についてです。

まず、東京書籍は、ICTのよさを生かし、問題解決のために活用できるデジタルコンテンツで、家庭学習や自主学習で何度も繰り返し学習ができるようにしたり、課題把握のために動画を用いたりすることで、主体的な学習が進められるよう、また、単元の導入において既習事項を、新たな課

題とつなげたり、比較したりして、課題をつかみやすいように工夫されています。

次に、大日本図書は、その単元の学習に必要な前学年までの内容はQRコンテンツで簡単に確認できるよう、また提示された解き方や考え方について、違いを話し合ひましょう、考えを説明しましょうといった質問を随所に設け、児童が思考力、判断力、表現力を発揮しながら学習が進められるように配慮されています。

次に、学校図書は巻頭のノート名人になろう等で、これまでの学びを振り返りながら、これからの学びに生かしていけることを示し、機械的に学習が進められるよう、またドット図やテープ図、数直線などを学習する場を系統的に設定することで、問題解決の方法を、図を用いて表現することができるように工夫されています。

次に、教育出版は算数のミカタが掲載され、学習の中で確認しながら、新たな見方を別の場面で活用できる力が身につく、思考、判断力、表現力、育成されるように、また単元末学んだことを使おうでは算数を使って、日常の問題に取り組んだり、4コマ漫画で学習したことを生活に生かす場面を紹介したりすることで、数学のよさを実感し、日常生活に算数を活用することができるように工夫されています。

次に、啓林館は端末準備のQRコンテンツで既習事項の確認ができ、解説動画コンテンツでは、丁寧な説明により、自学に進んで取り組める内容となっており、数学的な知識、技能の確実な習得ができるよう、また単元導入において、児童の問いから始まる学習の入口となるよう、児童自らの問いや気づきをめばえとして掲載し、児童がめあてを導き出す授業展開ができる構成となっており、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されています。

最後に、日本文教出版は「?を発見」では、日常生活の中にある疑問を取り上げ、主体的に学習に取り組むことができるよう、また「次の学習のために」では既習事項の確認、「算数マイトライ」では適切な反復学習ができるよう、「算数ジャンプ」では、複数の単元や、領域を結びつけた内容が用いられており、理由や方法などを説明させる工夫がされています。

その中で、佐世保市の子供たち、そして先生方のために、東京書籍、教育出版、啓林館を推薦したいと思います。

その理由として、東京書籍はICTのよさを生かした深い学びの実現が図れるよう、問題解決の際に活用できるデジタルコンテンツが用意され、主体的な学習が進められるからです。

教育出版は、単元末学んだことを使おうなどで、数学のよさを実感し、日常生活に算数を満たすことができるからです。啓林館は特に解説動画などQRコンテンツが充実するなど、1人1台端末を有効活用した新時代の学習スタイルの構築に資する構成となっており、児童自身がめあてを導き出す授業展開ができるなど、主体的に取り組むことができるからです。

以上で、算数科の報告を終わります。ありがとうございました。

○進行 ありがとうございました。

これまでと同じように、今からしばらく時間をとりますので、算数科についての各学校の校内研究について目を通してください。

〔資料黙読〕

先生方よろしいでしょうか。

各学校からの意見等を見られて、算数科について付け加え等ございませんでしょうか。

調査員・各学校の報告等を集約しますと、数者に絞られてまいります。中でも、調査員からは

東京書籍、教育出版、啓林館を推薦するという意見が出されております。いかがでしょうか。

選定委員の皆様から、ご意見等ございませんか。

ないようでしたら、算数については、東京書籍、教育出版、啓林館を推薦したいと思いますですが、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは算数科については東京書籍、教育出版、啓林館の3者を推薦いたします。

続きまして、理科お願いいたします。

○調査員 失礼します。理科の調査結果について報告します。

理科につきましては、5者の教科書について調査を行いました。まずはそれぞれの教科書の特長について端的にご報告させていただきます。

まずは、東京書籍につきましては、実物や実験等の実際の写真が多く、技能習得や学習内容を想像しながら学習に取り組みやすいものでした。

次、大日本図書につきましては、これも写真等が多く、とても見やすく、その中でも佐世保市の森きららの写真があるなど、ふるさと佐世保の理解を深める、学習に生かせるものでした。

学校図書につきましては、各単元の導入に用いられている挿絵が児童の興味関心を高め、主体性を育み、学習に対する期待を高めるものでした。

教育出版につきましては、各単元の導入において、理科の見方考え方を明記してあり、児童がスムーズに学習に臨みやすく、教師も統一した指導ができるものとなっております。

啓林館につきましては、教育出版同様、理科の見方考え方を明記してあり、問題解決学習に適したつくりとなっているものでした。また、学習したことと、日常生活をつなげるページを単元末に設けてありました。

いずれの教科書もそれぞれに魅力を感じる部分もありましたが、今回佐世保市の児童のためにふさわしいと思われる教科書として、大日本図書、教育出版、啓林館を推薦したいと思います。

理由としましては、大日本図書は佐世保市の自然等の理解を深める学習に特に生かせることができるため、教育出版は理科の見方考え方を明記したり、スムーズに学習できるため、啓林館は、問題解決学習に生かせ日常生活と関連付けて、学習ができるためです。

以上で理科の報告を終わります。

○進行 ありがとうございます。

それでは、各学校からの意見書の方に目を通してください。

[資料黙読]

各学校からの資料についてはよろしいでしょうか。付け加え等ございませんでしょうか。

理科についても、3者以上ございました。調査員・各学校の報告等を集約しますと数者に絞られてまいります。中でも、調査員からは大日本図書、教育出版、啓林館を推薦する意見が出されましたが、いかがでしょうか。ご意見等ございませんか。

それでは理科は大日本図書、教育出版、啓林館の3者を推薦してよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは理科についてはこの3者を推薦いたします。

続いて、生活科です。お願いします。

○調査員 生活科の調査結果について報告します。生活科につきましては6者の教科書について調

査を行いました。

まずは、それぞれの教科書についてご報告いたします。

東京書籍につきましては、かつどうべんりてちょうや生き物図鑑など豊富な資料を掲載することで、児童が個に応じて活用できるように工夫されていました。

大日本図書につきましては、児童のつぶやきや気づきが書かれたカードなどの例示が大変多く、それらを手がかりに児童自身が気づきの質を高めることができるように工夫されていました。

学校図書につきましては、各単元が掲載されている楽しみノートで遊び方、作り方などをわかりやすく示すことで、興味関心を高める工夫がされていました。

教育出版につきましては、考え方のヒントとなる考えまとめいろや自分の学習を振り返るぐんぐんはしごなど、児童の意欲と思考を引き出す様々な工夫が見られました。

光村図書につきましては、どうしてだろう、なんでだろうやこんなこともあるかもねといったコーナーで、児童が考えを深めることを促し、豊かな人間性や優しい気持ちを持つことができるように配慮されていました。

啓林館につきましては、自然物の写真の提示の仕方が上手で、教科書のページから、児童が興味関心を引きつけられ、学びたい意欲を引き出すような工夫がされていました。

いずれの教科書のそれぞれに魅力を感じる部分がありましたが、今回、佐世保市の児童のためにふさわしいと思われる教科書として東京書籍、光村図書、啓林館を推薦したいと思います。

その理由としましては、東京書籍は、学習のマナーなど児童に考えてほしい点がわかりやすく示してあり、社会規範や道徳性などを身につけることができるように配慮されていました。

光村図書は、教科書全体を通して、イラストや、言葉文言の端々に、子どもそれぞれの感じ方や成長を大切にしようとする姿勢があり、多様性や安心感が重視されるこれからの学校の教育にふさわしいと考えました。

啓林館は、自然物との関わりを大切にした構成で、動植物に親しみをもち、命を大切にしようとする態度を養うことができると考えました。

以上で、生活科の報告を終わります。

○進行 ありがとうございます。

それでは各学校からの意見書の方に目を通してください。

〔資料黙読〕

各学校の意見書については、何か意見はございませんか。

生活科につきましても、調査員・各学校の報告書を集約しますと数者に絞られてまいります。中でも、調査員からは、東京書籍、光村図書、啓林館を推薦する意見が出されました。先生方いかがでしょうか。ご意見はございませんか。

それでは生活は東京書籍、光村図書、啓林館の3者を推薦してよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、生活科については、この3者を推薦いたします。

ありがとうございました。

半分の審議が終わりましたので、休憩を入れます。休憩中に後ろにあります教科書をご覧になられても構いません。それでは休憩に入ります。お疲れ様でした。

(休憩)

(進行) それでは再開します。次に音楽お願いいたします。

(調査員) はい。失礼いたします。音楽科の調査結果についてご報告いたします。

音楽科においては、教育出版、教育芸術の2者の教科書について調査を行いました。

当然ながら、いずれも文科省の検定を経ておりますので、学習指導要領に示される音楽の見方、考え方を働かせながら、学びを進めることができるように、工夫された内容となっています。

2者とも共通しているような内容として、巻頭には目次とは別に、その学年で学習する内容がどのように学習を進めていくと良いのか、大まかに使うことができる学習マップが示されています。

また、これは現代的な要求として、デジタルコンテンツの充実がございます。児童がタブレット端末を活用して、二次元コードを読み取ることにより、リズムやメロディー、動画などの再生ができ、学習を終えた曲をもう一度聞き直したり、楽器の奏法を確かめたりすることができるようになっています。

一般的に、教師からヒントを示したり、音源をきかせたりということがありますが、二次元コードがあることで、児童が能動的に音楽に関わることができるという点が見られております。

また、巻末には、音楽をとらえる視点となる共通事項。教育出版には音楽のもと、教育芸術は、振り返りのページとしてまとめて示してあります。

それぞれの特長について、述べます。

教育出版においては一年生の鍵盤ハーモニカ、3年生のリコーダーなど導入時に大きな図を示し、指遣い、楽器の構造などがわかりやすく示してあります。

また、見開きページを使っております。見開きを開くことによって、大きな挿絵、すごく綺麗な風景写真などが示されています。また、開いたまま巻末にある、リコーダー指遣いのページを開いたまま、楽譜を見て、指遣いを確認しつつ、練習ができるといった工夫もしてあります。

また、各題材において、学びナビとして学習の進め方を示してあります。

児童が主体的に取り組む手がかりとなると考えました。

また、巻末には、音楽を表す言葉、例えば楽しい、明るい、悲しい、暗いなど、音楽から感じ取るものは、まとめて提示しております。

音や音楽からの気づき、実際の音からの気づき、また感じとったこと、そうしたことをつなぐ言葉として、音楽などにおいて、非常に重要な手がかりになることです。

以上のようなことが教育出版の特長と考えました。

教育芸術につきましては、題材の学習の進め方を考える、見つける、歌う、演奏する、作るっていうアイコンを使い、具体的に手順を追って示してあります。

これは児童が自主的に学びを進める、その手がかりとなることはもちろん、教師側が指導の手順を確認するという意味においても、大変有効であるというふうに考えました。

また、題材として学んだこと、できるようになったことなどを振り返って確認し、その後、学習に生かしていく呼びかけのコーナーがそれぞれの題材に示してあります。

巻末には大きく給付規模をリコーダー指遣いから今回でも、最高学年で学習したことだけでなく、その後、上学年で学習する内容を含め、まとめて掲載することで、振り返りところに、先の見通しを持って、発展的な学習をしたりすることにも対応している。

こちらが特長として挙げられると思いました。

音楽の学習では、楽曲が教材であり、それを通して何を学ばせるかというのが大切だと考えていま

す。

教育出版の方は、楽曲のイメージを広げ、理解につなぐ視覚的な挿絵に特長が、教育芸術には楽曲を通しての学びのガイド的な内容、どのように学びを進めるというのか、児童の思考を深めることができるのかということが示してあるとまとめることができると感じております。

どのように使うか、活用したいか。これはそれぞれとらえ方があると思いますが、2者ともそれぞれの個性、よさがあるというふうに感じました。以上で、音楽科の報告を終わります。

(進行) ありがとうございました。

それではこれまでと同じように、各学校からの意見書の方に目を通してください。

先生方から何か付け加えなどございませんか。

それでは音楽は教育出版、教育芸術の2者を推薦してよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、音楽については、この2者を推薦いたします。

それでは次は、図工です。お願いいたします。

(調査員) それでは図画工作課の調査結果について報告します。

図画工作科につきましては、開隆堂、日本文教出版の2者の教科書について調査を行いました。

2者ともに、子供たちの楽しそうだという気持ちを引き出し、自らやってみたいという主体的な学びを促すことができるよう、工夫がされています。

発達段階を踏まえながら、身につけさせたい造形的な技能がバランスよく配置されており、注意事項を生かしながら、繰り返し体験することで、確実に身につけられるように配慮されています。用具や材料の取り扱いと技法については、写真や図を用いて、巻末にそれぞれ学びの資料「材料と用具の引き出し」としてわかりやすくまとめて示されています。

加えて、各題材で必要な用具や材料及び技法についても、それぞれの題材ページに示してあったり、QRコードの動画によって確認できるようになっていたりするなど、自分の学習活動に応じて自分で学ぶことができるよう工夫されています。

それではそれぞれの教科書の特長についてご報告いたします。

開隆堂につきましては、教科書の巻頭に、職業及び生活との関連を重視して、多様な人々が造形に関わっている姿を取り上げることで、創造性を培うことの大切さに配慮されています。

中を見ますと、すべての題材が2ページ見開きで、右上から用具材料、学習のめあて、題材名、活動を促すリード文、また下段には、タブレット端末で片付け、振り返り、あわせて学ぼうなどが記されており、学習の流れがつかみやすい紙面構成となっています。

また、学びのめあてが親しみやすいキャラクターを用いて、視覚的にとらえやすく表現されており、子供たちが活動を進めるにあたって、目的を持って学習に取り組むことができるよう工夫されています。

さらにどの領域題材においても、造形的な見方や考え方の視点が吹き出しとして多数記載されており、子供たち自身が発想を広げる、制作の手がかりとすることができるよう配慮されています。

日本文教出版につきましては、オリエンテーションページが全学年に設けられています。

そのことで、図画工作科を学ぶ意義や1年間の学習の進め方を子供たちと共有することができ、活動に入った際に、学習意欲を喚起するよう工夫されています。

中を見ますと、キャラクターなどの吹き出しによる呼びかけ、活動中の子供たちの発言や作品に

対するコメントが多数掲載されており、既習事項と関連付けて発想を広げたり、獲得した知識や技能表現活動に生かしたりすることができるよう工夫されています。

実際の授業で真剣に題材と向き合い、友達と共同しながら活動している子供たちの姿の写真を、多く掲載することで、好奇心を吹き出し、造形活動に対する意欲や期待感が高まるよう配慮されていました。また、すべての題材において、身近にある美術品と結びつけたり、自然物の中にある美しさに気づかせたりするなど、鑑賞する活動と組み合わせた形で構成され、学びが深まるよう工夫されているところもすぐれています。

特に3、4年生上巻の「土のライブラリー」では、長崎県の五島、平戸、対馬の土が、5年、6年下巻においては、長崎県の「平和の祈りキッズデルニカ in ながさき」が紹介されており、ふるさと長崎のよさに気づき、また平和への理解を深める上で有効だと思われま

す。以上で、図画工作科の報告を終わります。

(進行) ありがとうございました。

それでは、各学校からの意見書の方に目を通してください。

[資料黙読]

何か付け加えなどございませんか。

それでは図工は開隆堂、日本文教出版の2者を推薦してよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、図工については、この2者を推薦いたします。

それでは、次にいきます。

家庭科です。よろしく願いいたします。

(調査員) 失礼します。家庭科の調査結果について報告をいたします。

家庭科は、2者の教科書について調査を行いました。

東京書籍につきましても資料のように多くの工夫があり、大変すばらしい教科書でした。

その中で特によかった点を3点紹介します。

1点目は、教科書冒頭に家庭や地域の生活を見つめたり工夫したりするときの見方や考え方を、家庭科の窓として四つの視点で示してあり、自ら学び、生活をより良くしようとする意識を高め、自立した人間の育成に繋がるように工夫されていました。

2点目は、学習内容を、活動1から活動3と示し、それぞれにサイズや分量、調べる内容等をイラストや写真を用いて、わかりやすく提示することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるように工夫されていました。

3点目は、写真やイラストが興味を喚起したり、イメージを膨らませたりしやすいように工夫されていました。

量や配置もバランスよく適量でした。また、実物大の写真に掲載することで、手元を確認しながら、製作や調理ができるような工夫もされていました。

一方で、開隆堂につきましても、資料のように多くの工夫があるすばらしい教科書でした。

その中で、よかった点を3点紹介します。

1点目は、教科書冒頭に家庭科が自分の生活を見つめることからスタートし、自ら学び、生活をより良くする意欲を高めるために、生活の見方や考え方を四つの視点で示す工夫がしてありました。

2点目は、単元の初めに学習のめあてを示し、チェックする欄を設けることで、基礎的、基本的

な知識、技能、が確実に習得できたかが確認できるような工夫がされていました。

3点目は、題材ごとに、気づく・見つける、わかる・できる、生かす・深めるのスリーステップがあり、生活の一場面の気づきから、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されていました。

以上で家庭科の報告を終わります。

(進行) ありがとうございます。

それでは、各学校の意見書について目を通してください。

付け加えございませんか。

それでは家庭科は東京書籍、開隆堂の2者を推薦してよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、家庭科については、この2者を推薦いたします。

では次にいきます。

保健、お願いいたします。

(調査員) 保健では6者の教科書の特長について調査を行いました。

保健研究部が3者、体育研究部が3者を評価の独自の観点を中心に評価をいたしました。

確かな学力の育成を図る特長について、二名に分かれて報告をいたします。

東京書籍につきましては、個人差の理解、地産地消の推進と食育、学習課題の設定の工夫、ICT活用による主体的な学びへの支援、不安や悩みとの向き合い方、犯罪被害の未然防止、動画視聴によるけがの手当実習等に加え、読みやすくレイアウトされていたことなどが挙げられます。

大日本図書につきましては、個性と生命尊重、栄養素の大切さと食育、本県の安全教育と関連させた水の事故防止、必要感を促す学習課題設定支援、運動、食事、休養、睡眠の見直しによる生活改善、ロールプレイングを取り入れた喫煙の害に加え、淡い色遣いによる文字の見やすさなどが挙げられます。

文教社につきましては、本県食材による地産地消表推進とよりよい発育、表の見方を示す基礎的な知識技能を習得させる工夫、章末に新たな〇〇宣言を設けてあり、自分事として考え表現する工夫、自分に合った不安や悩みへの対処法に加え、多様な記入欄による書く活動の設定しやすさなどが挙げられます。

それでは残り大修館、光文書院、学研につきましては、体育研究部が調査を行った分のご報告をさせていただきます。

まず、3者共通といたしまして、学習の課題を中心に子供たち同士、友達と意見交換をしながら考えを深める工夫がされておりました。

それでは個別の特長としまして、大修館につきましては、地産地消推進と食育の関連、簡素化された学習過程のページ、身近な課題設定の工夫、保健を学ぶ意義などを考えさせる工夫、図や表、記入による自身の成長の視覚化、豊富な写真掲載による具体的な理解の促進に加え、ユニバーサルデザインフォントによる配慮がなされていることなどが挙げられます。

また毎時間の最後に、ウェブクイズを用意し、そしてその時間に学んだ知識の確実な習得を促す工夫がされておりました。

続きまして光文書院につきましては、生まれたときと今の手足の大きさ比較による命の尊さを学

ぶ、グラフを用いて実感を伴った知識、理解を深める工夫、各章の冒頭に生活を振り返る活動が設定され、主体的な学びに繋がる配慮、動画を見ながらけがの手当を実践できる工夫に加え、文字を少なくし、イラスト、図、表などを多用する配慮などがありました。また、私と健康のコーナーでは、学習内容の関連や学習効果に配慮する工夫として、オリンピックやパラリンピックの各選手たちを写真や二次元コードで紹介されておりました。

最後に学研につきましては、手の汚れ調べや衣服の染め出し、そういった実験結果を提示し、実感を伴った健康理解の工夫、4人の体の変化を示し、成長の個人差の理解の工夫、心と体が相互に影響する科学的な理解の工夫、また喫煙や飲酒の断り方、ロールプレイングの資料の掲載に加えて、全体的に淡い色遣いで落ち着いた学びを保障する配慮などが挙げられます。また、事故防止、けが防止の学習では、事故やけがを防ぐ、ユニバーサルデザインを写真やイラストで紹介されておりました。

担当としましては、この以上6者のいずれもそれぞれに魅力を感じる部分がありましたが、今回佐世保市の児童のためにふさわしいと思われる教科書として、三つ。大日本図書、光文書院、学研を推薦したいと思います。

その理由としましては、大日本図書はSDGs、持続可能な開発目標の取り組みと保健学習の関連について取り扱うなどの視点が明確であったことが挙げられます。

光文書院につきましては、本市が採用しております体育の副読本との関連があり、文章表現を簡潔でまとめられている、言語活動を設定しやすいなどが挙げられます。

三つ目の学研につきましては、児童の親しみやすさが考えられます。

1項目を見開き左右2ページで構成され、学びの手順が一目でわかりやすい工夫が挙げられます。以上でございます。

(進行) ありがとうございます。

それでは各学校から出ております意見書に目を通してください。

[資料黙読]

先生方から付け加え等ございませんか。

保健につきましても、調査員・各学校の報告書を集約しますと数者に絞られてまいります。中でも、調査員からは、大日本図書、光文書院、学研を推薦する意見が出されました。先生方いかがでしょうか。ご意見はございませんか。

それでは保健は大日本図書、光文書院、学研の3者を推薦してよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、保健については、この3者を推薦いたします。

続いて、英語です。お願いします。

(調査員) 失礼します。英語の教科書選定についてご報告を申し上げたいと思います。

英語科につきましては6者の教科書について調査を行いました。

6者とも学習指導要領のねらいの達成に向けて様々な工夫がされており、適切な学習内容でした。また、英語の特長であります、言語活動について、大切に導かれておりました。

それぞれの特長についてご報告いたしますと、まず、東京書籍ニューホライズンズはどの單元においても、めあて及び学習の流れが明確であり、レイアウトも見やすく、何をその時間で学べばよいのかがわかりやすく、主体的に取り組めるように工夫されておりました。

また、言語活動も大切にされ、スパイラルに身につけていく工夫がされており、学習活動や学習材料も豊富に準備されているのが特徴的でした。

開隆堂ジュニアサンシャインが単元の流れが明確でゴールに、児童の生活に即した課題やテーマが設定されており、ゴールに向けて、コミュニケーション活動が意図的に仕込まれていました。

また、イラストがとてもわかりやすく学習や内容の理解に役に立っていました。

三省堂クラウンジュニアは各単元で児童が確実にステップアップできるように、スモールステップの単元構成がなされ、言語活動がスパイラルに学ぶ工夫がされていました。

紙面の内容はシンプルで、その時間に何を学ばよいか、どの児童にも、わかりやすいものとなっております。

教育出版ワンワールドスマイルズは、学習した内容と自分の生活や将来と関連付けて考えさせ、生活の中で、外国語を活用しようとする意欲を喚起するところが特徴的でした。

また、音声を大切にしながら、思考力及び表現力の育成を図ろうとしていました。

光村図書ヒアアーウィーゴーは、全体的にシンプルで、基礎基本的な知識、技能の確実な習得を図れるよう構成されており、さらに、学んだことを使って、伝え合う活動が設定されていました。

また、振り返り活動を行うことで、達成感を感じさせ、個に応じた次のめあてに結び付け、次単元に結び付けています。

啓林館ブルースカイは、単元内の活動過程が目的的に配置されており、段階を追って知識、技能を身につけ、思考、判断力、表現力が育成されるように構成されていました。

実際の場面で学習したことを使わせることで、コミュニケーション力の向上が図られており、さらに、異文化理解に関する写真等も美しく整えられておりました。

いずれの教科書においても、それぞれ楽しく、しかも確実に学習できる魅力のある内容のあるものばかりで、大変甲乙つけがたいものでしたが、その中でも、今回佐世保市の児童にふさわしいと考えて、ご推薦差し上げるのが、東京書籍、三省堂、啓林館の3者です。

その理由としては、それぞれどれもすばらしかったのですが、東京書籍については、今年度まで採用されており、まだ実績が浅い教科、外国語で言いますと、教える教師の方の教材研究の負担を少しでも軽くすることができるのではないかと考えました。

三省堂は全体的にバランス良く整っており、中でもシンプルで、ビジュアル的にも内容的にも学ぶことが明確でありますので、児童にとってまた教師にとっても、教科書として使いやすそうなものになっていました。

啓林館は総合的にとても整っており、スパイラルの中で、自然に子どもの学力アップが積み重ねられます。中学校で採用されている教科書でもあり、児童の学びの連続性ということには適していると考えます。

以上で、英語の調査報告を終わらせていただきます。

(進行) ありがとうございました。

それでは、各学校からの意見の方に目を通してください。

[資料黙読]

先生方から付け加え等ございませんか。

英語につきましても、調査員・各学校の報告書を集約しますと数者に絞られてまいります。中でも、調査員からは、東京書籍、三省堂、啓林館を推薦する意見が出されました。先生方いかがでしょう

か。ご意見はございませんか。

それでは英語は東京書籍、三省堂、啓林館の3者を推薦してよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、英語については、この3者を推薦いたします。

それでは、いよいよ最後です。道徳、お願いいたします。

（調査員）失礼します。道徳の調査結果について報告します。

道徳につきましては、6者の教科書について調査を行いました。

まず、それぞれの教科書の特長についてご報告いたします。

東京書籍は、ユニット単位としていじめを取り扱っていますが、このいじめに対する学習において、教材の視点が工夫されています。例えば、友情で1時間、もう一つは規則尊重で1時間などのように、ユニットをただ組むだけでなく、その教材の工夫をされているなということがよくわかりました。

教育出版につきましては、教材の一番最後に自己評価の欄がありまして、自分の学習はどうだったのか、今日の学習が楽しくできたのか、友達と話し合うことできたのかななどの、自己評価の欄が教科書に設けてありまして、自己の振り返りが容易にできるなという工夫があります。

光村図書につきましては、他者と比べてワンサイズ小さい教科書ですが、ワンサイズ小さいながら手持ち感が非常に良く、そしてそのコンパクトな中に効果的に写真や文章がわかりやすく掲載されていると思われました。

日本文教出版につきましては、別冊ノートが付いておりまして、別冊ノートを付けることによって、学習を記録しやすい、あるいは保護者との連携を図りやすいなどの工夫があるということでした。

光文書院につきましては、学習に関する問いがすべて左側のページにまとめられておりまして、この学習の問いは一体なんだろうと思ったときに、左側のページに視点を合わせてみれば、その学習の内容が見える、また見やすくわかりやすいのかなと思われました。

学研につきましては、「みんなで」「命」「未来に向かって」この三つのテーマを6年間、一貫したテーマで教科書が構成されておりまして、例えば「みんなで」というところにいじめ問題が加わったり、あるいはSDGsが加わったりなど、6年間一貫したテーマで発達段階に応じた教材を配置しているという部分がありました。

いずれの業者も魅力を感じる部分がありまして、とても良い教科書だと思いましたが、今回佐世保市の児童のために、ふさわしいと思われる教科書として、東京書籍、教育出版、光村図書を推薦したいと思います。

その理由といたしましては、東京書籍は、今回の学習指導要領に児童が自分自身の問題ととらえという言葉がありますが、自分自身の問題ととらえるための発問や巻末のツールの紹介など、効果的な指導方法が提示されている。

教育出版の方は、現代社会の大きな課題であるいじめと情報について、このいじめの情報については、クラス編制後の学年当初に固めて配置してあり、その課題に対する重要認識というのが非常にわかりました。

最後に光村図書の方は、これも学習指導要領の方に議論する道徳ということが提示されていますが、この議論するにあたっての考えを話し合うのコーナーに、議論が活発に行われるような指導方

法の工夫が紹介されております。

以上のことからこの3者を推薦したいと思います。

以上で道徳の調査結果の報告を終わります。

(進行) ありがとうございます。

それでは、各学校からの意見書について目を通してください。

[資料黙読]

先生方から付け加え等ございませんか。

道徳につきましても、調査員・各学校の報告書を集約しますと数者に絞られてまいります。中でも、調査員からは、東京書籍、教育出版、光村図書を推薦する意見が出されました。先生方いかがでしょうか。ご意見はございませんか。

それでは道徳は東京書籍、教育出版、光村図書の3者を推薦してよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、道徳については、この3者を推薦いたします。

以上ですべての種目の協議を終えました。

それでは、選定委員会から審議委員会へ推薦する発行者を確認いたします。

国語は、東京書籍、教育出版、光村図書の3者。

書写は、東京書籍、教育出版、光村図書の3者。

社会は、東京書籍、教育出版、日本文教の3者。

地図は、東京書籍、帝国書院の2者。

算数は、東京書籍、教育出版、啓林館の3者。

理科は、大日本図書、教育出版、啓林館の3者。

生活は、東京書籍、光村図書、啓林館の3者。

音楽は、教育出版、教育芸術の2者。

図工は、開隆堂、日本文教の2者。

家庭は、東京書籍、開隆堂の2者。

保健は、大日本図書、光文書院、学研の3者。

英語は、東京書籍、三省堂、啓林館の3者。

道徳は、東京書籍、教育出版、光村図書の3者。

を審議委員会へ推薦いたします。

選定委員の先生方からご意見、ご質問等はございませんか。

これで、全種目の選定を終えたいと思います。ありがとうございます。

事務局お願いします。

(事務局) ありがとうございます。

井上校長先生、ありがとうございます。以上で選定委員会を終わります。

なお、主宰の井上校長先生におかれましては、この後行われます採択審議委員会において、ただいまの選定結果を報告していただきます。

選定委員のみなさん、長時間にわたりご協力いただき、ありがとうございます。資料の方は机上の方にそのまま置いていかれてください。お願いいたします。